

## 研究業績 (2022~2023)

### 2022 年度

#### 論文発表

1. Factors affecting spine-femur discordance in the percentage of young adult mean on dual-energy X-ray absorptiometry in the elderly population: a retrospective study  
Shoshi Akiyama et al BMC Musculoskeletal Disorders 23:76, 2022
2. THA 術後 10 年で Trunnionosis によるステム折損の 1 例  
生田 匠 他 栃木県整形外科医会会誌 36(1):8-10, 2022
3. 側弯症学校検診の費用に関するスコーピングレビュー  
茶菌 昌明 J Spine Res 13: 1164-1170, 2022

#### 学会発表

1. 側弯症学校検診費用に関する文献調査  
茶菌 昌明 第 51 回日本脊椎脊髄病学会 令和 4 年 4 月 21 日 (横浜)
2. 待機的脊椎手術 734 例の術後 PTE 発症の危険因子は脳血管障害・虚血性心疾患の既往である。  
茶菌 昌明 他 第 95 回日本整形外科学会 令和 4 年 5 月 22 日 (神戸)
3. 脊椎後方骨切り術の 1 例  
茶菌 昌明 第 9 回栃木県脊椎外科研究会学術集会 令和 4 年 7 月 27 日 (宇都宮)
4. 側方進入椎体間固定術における椎間ケージ内の骨癒合評価 -自家骨+人工骨 vs. 自家骨+脱灰骨-  
茶菌 昌明 他 第 56 回日本側弯症学会学術集会 令和 4 年 11 月 5 日 (舞浜)
5. マルチスケールテクスチャ チタン合金ケージが骨癒合と固定椎体に与える短期的影響(シンポジウム)  
茶菌 昌明 他 第 31 回日本脊椎インストゥルメンテーション学会 令和 4 年 11 月 25 日 (大阪)
4. 多時相造影 CT による側方進入椎体間固定術に必要な腰部静脈系血管の解剖学的変異(主題)  
茶菌 昌明 他 第 31 回日本脊椎インストゥルメンテーション学会 令和 4 年 11 月 26 日 (大阪)
5. BFD サイドオープンを用いた BKP による骨折椎体保持効果の検討

- 一森紫衣奈 他 第 63 回関東整形災害外科学会 令和 5 年 3 月 24 日 (於 : 宇都宮)
6. マルチスケールテクスチャチタン合金 PLIF ケージが固定椎体に与える短期的影響  
茶藪 昌明 他 第 63 回関東整形災害外科学会 令和 5 年 3 月 24 日 (於 : 宇都宮)

## 2023 年度

### 論文発表

1. Substantial mismatch of skeletal maturity assessment between Risser sign and Simplified Skeletal Maturity Scale/Thumb Ossification Composite Index in patients with adolescent idiopathic scoliosis

Masaaki Chazono, Takeshi Inoue, Shintaro Obata

Spine Deformity 11: 853-860, 2023

2. Trends in cervical laminoplasty and 30-day postoperative complications: 10-year results from a retrospective, multi-institutional study of 1095 patients

Eiji Takasawa, Yoichi Iizuka, Tokue Mieda, Hiraokazu Inoue, Atsushi Kimura, Katsushi Takeshita, Hiroyuki Sonoda, Kenta Takakura, Yasunori Sorimachi, Tsuyoshi Ara, Atsuhiko Arai, Kosuke Shida, Takashi Nakajima, Satoshi Tsutsumi, Hidekazu Arai, Hiroshi Moridaira, Hiroshi Taneichi, Toru Funayama, Hiroshi Noguchi, Kousei Miura, Ryoichi Kobayashi, Haku Iizuka, Masaaki Chazono, Hirotaka Chikuda

European Spine Journal 32: 3575-3582, 2023

3. 三相造影 CT による側方進入腰椎椎体間固定術に必要な腰部静脈系血管の解剖学的変異の検討.

茶藪 昌明 瓜本 奏太

J Spine Res 14: 1325-1331, 2023

### 学会発表

1. 側方進入椎体間固定術における椎間ケージ内の骨癒合評価 —自家腸骨+人工骨 vs. 自家腸骨+脱灰骨—

茶藪 昌明 生田 匠 齋藤 真司

第 52 回日本脊椎脊髄病学会 令和 5 年 4 月 13 日 (於 : 札幌)

2. 後方進入椎体間固定術で用いる椎間ケージが骨癒合と固定椎体に与える短期的影響 — PEEK ケージ vs. マルチスケールテクスチャチタン合金ケージ—

茶藪 昌明 生田 匠 齋藤 真司

第 52 回日本脊椎脊髄病学会 令和 5 年 4 月 15 日 (於：札幌)

3. 後方進入椎体間固定術で用いる椎間ケージが骨癒合と固定椎体に与える短期的影響 —  
PEEK vs. マルチスケールテクスチャチタン合金—

茶藪 昌明 生田 匠 齋藤 真司

第 96 回日本整形外科学会学術集会 令和 5 年 5 月 13 日 (於：横浜)

4. 成人脊柱変形手術後の PJJ

茶藪 昌明

第 11 栃木県脊椎外科研究会学術集会 令和 5 年 7 月 19 日 (於：宇都宮)

5. ヘルニコア発売 5 年経過して治療の変化と今後の課題 パネル ディスカッション

茶藪 昌明

栃木ヘルニコアセミナー 2023 年 10 月 4 日 (於：宇都宮)

6. 思春期特発性側弯症における X 線と超音波診断装置を用いた手指骨骨成熟評価の比較検討

生田 匠 茶藪 昌明 一森 紫衣奈

第 57 回日本側弯症学会 2023 年 11 月 11 日 (於：大阪)

7. BFD サイドオープンを用いた BKP は椎体内の骨セメント安定化に寄与する

一森 紫衣奈 茶藪 昌明

第 32 回日本脊椎インストゥルメンテーション学会 2023 年 11 月 24 日 (於：米子)

8. プーメランケージを用いた LLIF の小経験 - 体型の小さな日本人高齢女性への対応 -

澤田尚武 曾雌茂、牛久智加良、秋山昇士、金井知彬、齋藤真司、齋藤充

第 32 回日本脊椎インストゥルメンテーション学会 2023 年 11 月 24 日 (於：米子)

9. 思春期特発性側弯症(AIS)に対する convex rod rotation maneuver (convex RRM)による PSF  
を行った 1 例.

澤田 尚武 茶藪 昌明

第 12 回栃木県脊椎外科研究会学術集会 2024 年 1 月 31 日 (於：宇都宮)

10. 硬膜外血腫に類似した硬膜管背側脱出型腰椎椎間板ヘルニアの 1 例

泉原 亮友 茶藪 昌明 熊谷 吉夫 一森 紫衣奈 澤田 尚武 齋藤 允

第 64 回関東整形災害外科学会 2024 年 3 月 15 日 (於：横浜)

国立病院機構 宇都宮病院 整形外科

その他

国立病院機構共同臨床研究

令和4年度 NHO ネットワーク研究 (R4-NHO(骨運)-01)

「神経・運動器疾患の大規模歩容データベース構築と人工知能解析のための多施設共同研究」

研究代表者 国立病院機構大阪南医療センター 院長 小田 剛紀

研究分担者 国立病院機構宇都宮病院 整形外科部長 茶菌 昌明